

2B用シングルジェット (P-2B-SJ) 工事説明書

使用できるポンプ

- 深井戸用ポンプ PG-205F、PG-305F、PG-405F、PG-405FM
- 浅深兼用ポンプ PG-135K、PG-205K、PG-255K

井戸の選定

	使用できる井戸	使用できない井戸
井戸の種類	<ul style="list-style-type: none"> ● 硬質塩化ビニル管・VP50 ● 水道用硬質塩化ビニル管・VW50 ● 配管用炭素鋼鋼管(ガス管)・50A(2B) ● 水道用垂鉛メッキ鋼管・50A(2B) 	※左記以外の管を使用した井戸 (例)・薄肉の硬質塩化ビニル管(VU管) ・硬質ビニル電線管(VE管) ※次のようなもの ・腐蝕した古い鋼管 ・溶接管で内面ビード(溶接部)の突起のあるもの ・切断時のパリの大きい鋼管 (内径49mm以下で、ジェットが入らないもの)
運転水位	● 運転水位が井戸ケーシングのストレーナ上端より1m以上あること	● 水枯れする井戸

揚水量

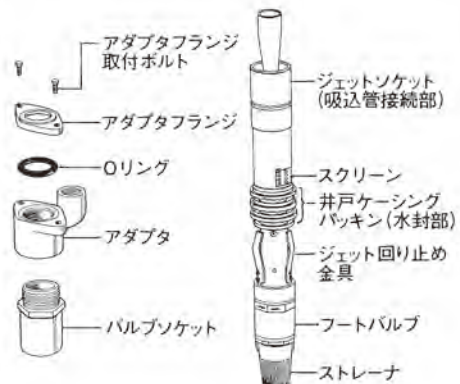
- 深井戸用ポンプ (L/min)

ポンプ \ 吸上げ高さ	12m	18m	24m
PG-205F (押上げ高さ6m時)	19	—	—
PG-305F (押上げ高さ10m時)	27	16	—
PG-405F(M) (押上げ高さ11m時)	—	21	12

- 浅深兼用ポンプ (L/min)

ポンプ \ 吸上げ高さ	10m	12m
PG-135K (押上げ高さ5m時)	19	—
PG-205K (押上げ高さ6m時)	—	19
PG-255K (押上げ高さ6m時)	—	22

各部の名称



配管工事の前に

■ 井戸ケーシングの点検

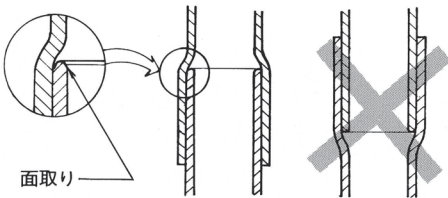
- 井戸ケーシングの上端に、切断時のバリがないことを確認してください。
(バリがある場合は、ヤスリ等で完全に除去してください。)
- 井戸ケーシングが鋼管の場合は、上端のネジ部が2Bであることを確認してください。
(ネジがない場合は2Bのネジを切ってください。)

※井戸内に切粉等が入らないようご注意ください。

■ 井戸を新しく掘られる場合

〈井戸ケーシングが塩ビ管の場合〉

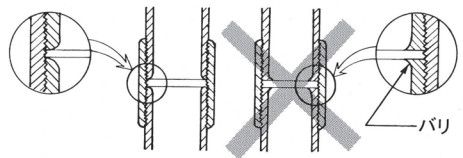
塩ビ管の接続はジェット挿入、取り出しの際に引っ掛かりをなくすため、図のように熱間接続をしてください。



※接続部の内径が小さくならないようご注意ください。

〈井戸ケーシングが鋼管の場合〉

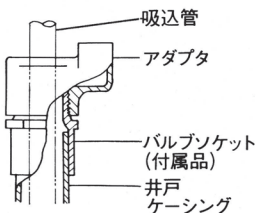
鋼管の接続部はバリを完全に除去してください。



配管工事

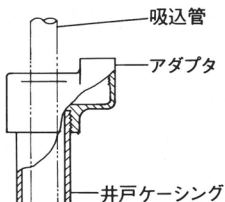
■ アダプタの取り付け方法

〈井戸ケーシングが塩ビ管の場合〉



- 付属のバルブソケットにシールテープを巻き、アダプタにねじ込んだ後井戸ケーシングに接着します。
(市販のバルブソケットは内径が小さい為ジェットが入りません。)

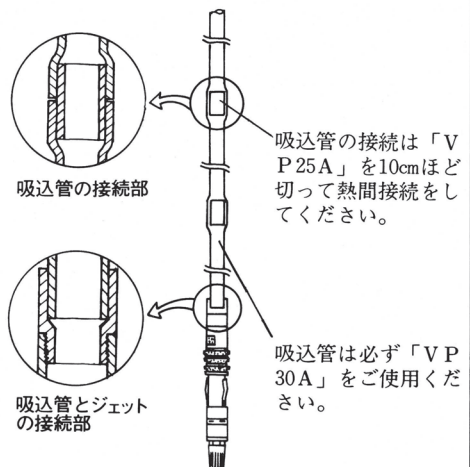
〈井戸ケーシングが鋼管の場合〉



- 井戸ケーシングに接着剤を塗布し、アダプタをねじ込みます。
(付属のバルブソケットは不要です。)

■ ジェット部・吸込管の接続方法

- ジェット部、及び吸込管の接続は、できるだけ地上で行なってください。



ジェットの挿入方法

1. ジェットの井戸ケーシングパッキン(水封部)をゆるめた状態で、吸込管を回さずに挿入します。
(挿入の際はパッキンがよくすべるように、水)でぬらしてください。
2. 所定の位置までジェット部を挿入し、吸込管を右(時計方向)に固くなるまで(約10回転)回します。
(ジェットの先端が井戸ケーシングのストレーナ部より50cm以上離れるようにしてください。)
3. 吸込管にOリング、アダプタフランジを通し、アダプタフランジをボルトで締め付けます。
(締め付けの際は、吸込管が井戸内に落ち込まないようにご注意ください。)
4. 25Aのバルブソケット(市販品)にシールテープを巻き、アダプタにねじ込みます。
5. アダプタとポンプ間の配管を行いません。

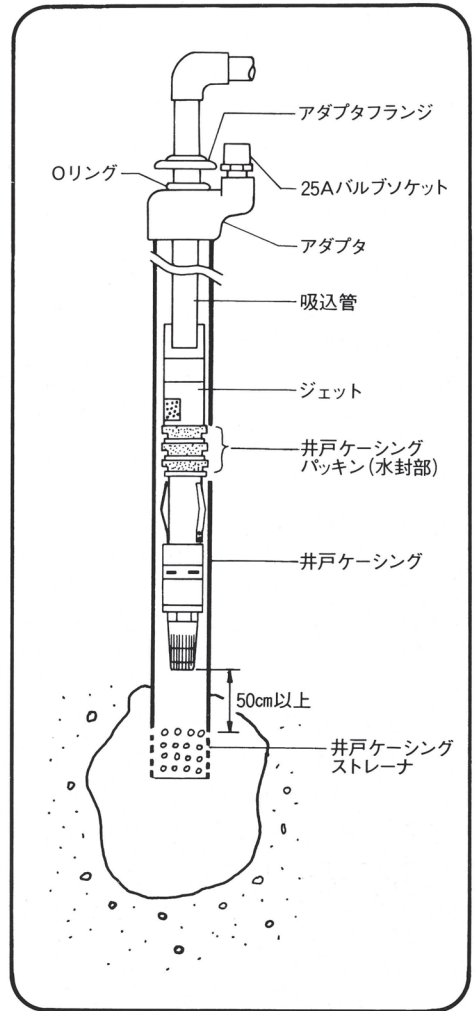
※浅深兼用ポンプにお取り付けの場合

下記のシングルジェット取付用部品セットを別途ご用意ください。

- ・ P G-135K用 品番：P J T-A 1367S
- ・ P G-205K用 品番：P J T-A 2709S
- ・ P G-255K用 品番：P J T-A 2709S

(この場合はポンプ付属品は不要になりますのでお引き取りします。)

なお、P G-135Kは吸込管・25A、圧力管・20Aになっておりますので25A×30A、20A×25Aの異径ソケットが各1コ必要です。



〈ご注意〉

- ジェット挿入時に途中でひっ掛かった場合は、無理に押し込まずに、いったん軽く引き上げてから再度挿入してください。
(無理に押し込むと、水封部のパッキンに傷がつくことがあります。)
- ジェット挿入時や吸込管の固定時には、ジェットが井戸内に落ち込まないようにご配慮ください。
ロープやパイプ固定金具(ポンプ付属品)をご利用ください。
- ジェット水封部の確認をするため、地上部配管の前に吸込管内に水を入れ、満水にしたまま2～3分間放置します。
万一水が減少する場合は、ジェットの水封が不完全ですので、再度吸込管を右方向に回します。

試 運 転

ジェット、及びポンプの配管が завершиましたら、ポンプの「取扱説明書」に従って運転してください。

- ・コントロールバルブの調整は、必ず圧力計をご使用になり、右表の値に調整してください。

(浅深兼用ポンプはコントロールバルブがついておりませんので調整不要です。)

ポンプ	圧力
PG-205F	69～78kPa 0.7～0.8kgf/cm ²
PG-305F	108～127kPa 1.1～1.3kgf/cm ²
PG-405F(M)	118～137kPa 1.2～1.4kgf/cm ²

- 単位は、国際単位系を採用。| 内の数値および単位は、参考として示したものです。

ジェットの引上げ方法

- ・ジェット部の点検・修理等でジェットを引き上げる場合は、次の順序で行なってください。

①ポンプの電源を切り、じゃ口を開いて水を出します。

②じゃ口より水が出なくなったら、ポンプの吸込フランジをはずします。

③アダプタフランジのボルトをはずし、吸込管を左(反時計回り)方向に軽くなるまで(約10回転)回し、そのままの状態約5分間待ちます。
※この間に吸込管内の水が井戸内に落ちます。

④吸込管を30cmほど上下し、引き上げます。

(引き上げる途中でひっ掛かった場合は、無理に上げずに、一度軽く押し込んでから引き上げてください。)

ジェットの分解方法

- ・ジェットの分解は次の要領で行なってください。(ノズルの点検)

①ジェットソケット固定ネジをはずします。

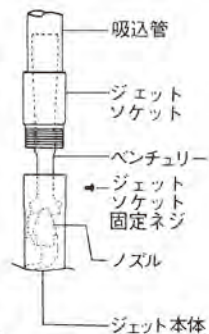
②ジェット本体よりジェットソケットをはずします。

③ベンチュリーをスパナではずし、ノズルを点検します。

※再組立は上記の逆の順序で行なってください。

注) ジェット本体とジェットソケットの接続はシールテープをご使用ください。

(接着剤を使用されますと、再分解ができなくなります。)



故障診断

症状	原因	処置
ポンプが止まらない	・ジェットのスクリーンやノズルのつまり	・ジェットを引き上げて掃除する
	・ポンプ圧力側フランジのノズルスクリーンのつまり	・ノズルスクリーンを掃除する
	・フートバルブに異物がつまっている	・ジェットを引き上げて掃除する
水が出ない、または水量が少ない	・呼水が不足している(初回運転時のみ)	・呼水を十分に行なう
	・水封部からの水漏れ	・吸込管を右方向に強く回す
	・水位の変動	・水位を調べ、ジェットの位置を調整する

※上記故障診断はシングルジェットに関する内容のみです。上記と合わせてポンプの点検も行なってください。

テラル株式会社

本 社 〒720-0003 福山市御幸町森脇230 TEL:084-955-1111 FAX:084-955-5777